

来週の「売り物」記事はこれ



2010年11月5日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

ロングインタビュー「時代を駆ける」

登山家の田部井淳子さん

9日から10回



ロングインタビュー「時代を駆ける」は、世界最高峰のエベレスト（8848メートル）に1975年、女性として初めて登頂した田部井淳子さん（71）＝写真＝が登場します。田部井さんは古希を過ぎた今も各国の山を縦走する現役の登山家です。体の弱かった子ども時代や、子育てと山登りを両立させた苦労など、葛藤と波乱に満ちた一生をたどります。

王貞治さんの「球道」第4部——福岡での出会いと飛躍

9日から5回

世界のホームランキング、王貞治さん＝写真＝のプロ野球人生をたどる運動面の長期連載インサイド「球道」は9日から5回にわたり、第4部「福岡へ」を掲載します。

福岡は、王さんが監督としての実力を開花させ、地元の人たちに愛されている土地。王さんを福岡ダイエーホークスへ招いた仕掛け人の根本陸夫・元監督、王監督の下で球界を代表するスラッガーに育った小久保裕紀選手、現在のソフトバンク球団オーナーである孫正義さんらとの交流を描きます。



広州アジア大会開幕へ——地域スポーツの祭典 12日、開幕



アジアのスポーツ選手が中国南部の大都市、広州に集う第16回アジア競技大会が12日、開幕します。アジア45カ国・地域から選手・役員約1万4000人が参加。27日まで、五輪を上回る42競技で熱戦を繰り広げます。

日本選手団では、競泳平泳ぎで3大会連続の2冠を狙う北島康介選手＝写真＝や、エース上野由岐子投手を中心に頂点を目指す女子ソフトボールなどが注目されます。

また、今回、初採用の囲碁では、本因坊道吾の号を名乗る山下敬吾らが中国、韓国の強豪と対決します。毎日新聞は、スポーツ記者や写真記者のほか、囲碁担当記者、在中国特派員らで取材団を結成し、連日、多角的に大会を報道します。協力関係にあるホスト国の中国青年報、韓国の朝鮮日報の記事も随時掲載します。

ナプキン新事情

くらしナビA面8、9日

紙ナプキンが製品化されて来年で半世紀。より薄く、より長時間使えるものが開発されて、月に一度の憂うつな時間を快適にしてくれています。最近では敏感肌の人のための、洗える布ナプキンも広がり始めました。最新のナプキン事情をお届けします。



いま介護の拠点は

くらしナビA面10～12日



地域で暮らすお年寄りの介護の拠点となる地域包括支援センター。しかし予算や人材や活動内容は地域によってばらばらで、どこでも同じサービスが受けられるわけではありません。現場に密着しながら、現状と課題を追います。

あなたの処方せん「頭痛」

くらしナビA面 8～12日

頭痛にはさまざまな種類があります。目の奥がえぐられるような群発頭痛、頭の片側がズキズキする片頭痛……。心身のストレスから生じるものもあれば、くも膜下出血や脳腫瘍など重い病気が潜んでいる場合も。それぞれの特徴と、治療法や予防法を解説します。



「辞めるのやめた」

鳩山由紀夫前首相に「真意」を直撃！

夕刊特集ワイド面 9日（火）



「首相を辞めた人が影響力を行使しすぎてはいけない。私は次の総選挙に出馬しない」。そんな殊勝な言葉で、今限りでの議員引退を表明した鳩山由紀夫前首相＝写真＝でしたが、先月、唐突に前言を翻しました。挙党一致を唱えながら、先の民主党代表選では「恩義があるから」と言って、小沢一郎元代表を全面支援するなど、鳩山さんの「言行不一致」はかねてからのクセのようです。ただ、今回の「引退撤回」には政治家としての悲願があるとも言います。では、たっぷり聞きましょう、鳩山さんの言い分を！ 夕刊編集部ベテラン記者が肉薄します。

「知りたいが分かる」がモットーの「特集ワイド」に、ご期待下さい。

紙面事情などにより掲載日が変更になることがあります。